

いわくに市議会だより

シー
See 議会

No. 59

令和3年8月発行



小さな命のために
できることから
始めてみませんか？

写真・メッセージ：市内で保護猫活動をされている「猫処りとや」さん

岩国市では、猫による地域トラブルの軽減や、殺処分の未然防止のため、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を受けさせ、手術後に飼養・譲渡する市民に対し、手術費用の一部を助成しています。

【詳しくは、岩国市環境保全課へ ☎29-5100】



紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容をご覧いただけます。

6月定例会の報告

6月定例会は、6月4日から28日までの日程で開催されました。

初日には、諸般の報告として、全国・中国・山口県の市議会議長会定期総会についての報告、各議長会からの表彰状の伝達式が行われ、次に市長から新型コロナウイルス感染症に係る対応について報告がありました。

続いて、定期監査の結果に関する監査報告、例月出納検査など監査報告が6件、令和3年度一般会計補正予算の専決処分承認、令和2年度一般会計予算の繰越明許費の繰越しの報告など報告が10件、固定資産評価審査委員会の委員の選任の同意、公平委員会

の委員の選任の同意、教育委員会の教育長、教育委員の任命の同意案件、岩国市税条例の一部を改正する条例等21議案が提出されました。

議決を要する23の案件のうち、報告2件及び議案10件が可決され、11の議案がそれぞれ、総務常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会に付託されました。

一般質問は6月15日から18日までの4日間の日程で19人の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症関連についての市の取組や行政のデジタル化、防災・減災対策等について、活発な議論が交わされました。また、6月18日には、令和3年度岩国市一般会計補正予

算（第3号）及び請願第2号「少人数学級の実現を国に求める意見書を提出することについて」が上程され、教育民生常任委員会に付託されました。

6月22日・23日の2日間の日程で教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、請願第2号を除く全12議案が、原案のとおり可決されました。請願第2号については、教育民生常任委員会より継続審査の申し出がなされ、承認されました。

続いて、令和3年度岩国市

一般会計補正予算（第4号）が上程され、教育民生常任委員会において審査後、教育民生常任委員長から報告があり、原案どおり可決されました。

議員提出議案は、2件提出され、「岩国市議会議員定数条例の一部を改正する条例」は、記名投票により、賛成多数で可決されました。また、「地方財政の充実・強化に関する意見書」は、全会一致で可決されました。

岩国市議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と迅速なワクチン接種の実施を進め、市民の皆様、市内事業者の皆様が安心して暮らせる日が一日も早く訪れますよう、これからも全力で取り組んでまいります。

岩国市議会議長 藤本 泰也

目次（主な内容）

6月定例会の報告	2
議員提出議案について	3
一般質問	4～7

議案の賛否	7
常任委員会審査報告	8～9
各特別委員会の活動報告	9～10

政務活動費収支報告	11
9月定例会の予定	12
編集後記	12

議員提出議案について

6月定例会において、以下の2件の議員提出議案が可決されました。

1 議員提出議案第2号 岩国市議会議員定数条例の一部を改正する条例

議員定数を現行の30人から28人とする改正案を賛成多数で可決しました。



《提案説明》 市政改革クラブ 植野正則議員

我々議会自らが身を削り、痛みをも恐れないことを決意してこそ、執行部に対しても厳しい行財政改革を迫ることができる。議員定数削減により、民意が十分に反映されなくなるという懸念も示されているが、議員としての資質の向上を図れば市民の負託に十分に答えられるので、議員定数を現行の30人から28人とする改正を提案する。

《討論の実施》

賛成討論 河合議員、石原議員、丸茂議員

反対討論 小川議員、武田議員、片岡議員、姫野議員

《記名投票で採決》

記名投票を行い、賛成15人、反対14人で議員提出議案第2号を可決しました。

※「記名投票」は、賛成者・反対者を明らかにするための投票です。賛成の人は白い札を、反対の人は青い札を投票箱に投入します。この札には、それぞれの議員の名前があらかじめ印刷されています。



《記名投票の実施風景》

2 議員提出議案第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書

新型コロナウイルスへの対応が求められる中、地方財政の確立を政府に求める意見書を全会一致で、可決しました。



《提案説明》 同志会 山本辰哉議員

2022年度の政府予算において地方財政関係予算を検討するに当たっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、政府に求める意見書を提案する。

一般質問 市政を聞く

6月定例会では、19人の議員により、新型コロナウイルス感染症関連の市の取組や、防災減災対策、行政のデジタル化など、48項目にわたる質問が行われました。

※紙面の都合上、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。



会派代表質問



瀬村 尚央
(市政改革クラブ)

問 行政窓口のキャッシュレス納付について問う

住民票の写し等を受け取る際の手数料、各種施設利用に際して支払う施設利用料等について、新しい生活様式、デジタルトランスフォーメーションの観点からキャッシュレス決済の導入を推進していくべきだと考えるが市の考え方について問う。

答 来年度以降試験的に導入していく

キャッシュレス決済といっても、クレジットカード、電子マネー、バーコードと種類があるため、どの部署や施設にどのキャッシュレス決済を導入するか、ニーズの把握や調査、研究を今年度実施する。来年度以降試験的に導入していく予定だが、まずは1枚のステッカーで複数の決済サービスに対応可能なJ・P・Q・Rの導入を検討している。(行政経営改革課)

会派代表質問



越澤 二代
(公明党議員団)

問 愛宕山多目的広場の今後の利活用について

愛宕山多目的広場は市民の憩い・交流の場であるとともに防災拠点として様々な機能を備えた防災公園となっている。整備されている防災拠点としての機能の活用が重要である。今後の利活用について伺う。

答 災害活動拠点としての機能の周知を図る

新型コロナウイルス感染症の収束後には、一層の利用者の増加が見込まれることから、その時機を捉え、愛宕山ふくろう公園を会場とする防災訓練をするなど、災害活動拠点としての機能について周知を図る。(危機管理課)

その他の質問項目

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施について
- ・ 不妊症・不育症治療による出産への支援について

会派代表質問



大西 明子
(日本共産党市議員団)

問 生理の貧困対策を定めること

アルバイト収入が減ったり解雇されたり若い世代を中心にナプキンの入手に苦労する人が少なくないという状況が明らかになり、内閣府は女性支援の交付金を拡充し、自治体が行う生理用品の提供を「地域女性活躍推進交付金」により支給。「生理の貧困」にある女性や子供に寄り添った相談支援や「地域子供の支援応援交付金」を活用して、学校・ハローワーク・福祉事務所などで生理用品の提供が進むよう文部科学省・厚生労働省・内閣府が取り組むとしている。岩国市にも公共施設・学校のトイレに配布するよう求めた。

答 公共施設等での生理用品の配布を前向きに検討する

市は公共施設等で生理用品の配布について前向きに検討したいと答弁。(人権課・教育委員会)

会派代表質問



松本 久次
(憲政会)

問 森林環境整備基金積立金について

森林環境譲与税を財源とし、森林整備の促進を目的として、基金を積立している。積立の目的内容と活用方法について伺う。

答 森林の整備促進につなげていきたい

森林整備の施策や、整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の公益的機能に関する普及啓発、木林利用の促進等に関する施策に要する費用に充てるために設置している。現在この基金を森林経営管理事業や、岩国産木材市産市消促進事業費補助金などの財源として積立てており、今後、この基金を活用し、森林の整備促進につなげていく。
(農林振興課)



山本 辰哉
(同志会)

問 通津沖工業団地の渋滞緩和措置について伺う。

答 右折レーンを延ばして柳井方面へ向かう車両を出やすくする。また、国道交差点内に右折車が合流しやすくなる対策を国等に依頼する。

問 飼い主のいない猫事業の、制度緩和について伺う。

答 耳カットは必須から奨励に緩和し、子猫の手術には猶予期間を設ける。



片山 原司
(二葉会)

問 防災体制における避難について、特に避難所の機能と防災行政無線ラジオの状況について伺う。

答 避難所において高齢者が安心できるよう、105箇所中93箇所洋式トイレが高い整備率で完備している。しかし2階へ上がるエレベーターは105箇所中12箇所しかないの検討する必要がある。逃げ遅れゼロを目指す防災ラジオは岩国地域と周東地域の普及率が低い。



植野 正則
(市政改革クラブ)

問 令和3年度に行われる本市の農業振興地域農用地区域の見直しについて、農家の意向の反映やスケジュールについて伺う。

答 最終的には県知事の同意を得て完了となる。パブリックコメントを実施した場合は、完了は令和4年度末となる見込みである。農家個別の意向を聞くというものは無いが、縦覧期間中に意見書の提出もできる。



中村 豊
(公明党議員団)

問 就学前の医療的ケア児へのサポートがあれば保護者の負担も軽くなる。就学前の医療的ケア児への今後の支援の在り方について伺う。

答 市内の児童発達支援事業所に受入れを働きかけるとともに、「医療的ケア児等コーディネート」や、児童発達支援事業所、医療機関などの関係機関と連携し、就学前の医療的ケア児の支援体制の充実に向け取り組んでいく。



河合 伸治
(公明党議員団)

問 これまでも同性パートナーシップの取組の問題を取り上げてきたが、制度が整備されていないため不利益を被っている人がいる。本市としても取組を進めていただきたい。

答 同性パートナーシップの導入については、国や他の自治体の動向を確認しつつ検討を進めていく。市民の理解を深めるため、今年度のじんけんフェスタではLGBTに関する講演を検討している。



田村 博美
(憲政会)

問 本市の観光行政について伺う。

答 コロナ禍後を見据えた今後の観光戦略は、観光アンケート調査からもマイクロリズムの傾向が顕著に現れたことにより、リピーターの方にも楽しんでもらえる様々な仕掛けづくりや、観光体験メニューの充実と、外国語のホームページ等で情報戦略に着眼した観光・誘客に取り組む。



広中 英明
(市民クラブ・草の根)

問 夏場での授業中、エアコンを使用している時に換気のために窓を開けっ放しにするわけにはいかないと思う。他市ではCO₂測定器を設置し教室内の温度と換気を適切に管理している。本市ではどうか。

答 各学校においては「衛生管理マニュアル」を参考に教室内の換気を行っている。測定器等が必要なら予算を配当しているので購入し活用していく。



丸茂 郁生
(志誠いわくに)

問 人口減少問題について岩国市に移住・定住を進めていくため、お試し住宅の施策を講じていくべきではないか。

答 「お試しし住宅」の利用は、移住の決断を促す効果が期待されることから、先進地の事例を参照し研究してまいりたい。

その他の質問項目

・地域包括ケアシステムについて
・コロナ収束後の大規模イベントについて



矢野 匡亮
(湧水)

問 本市管理の河川の浚渫・護岸改修について、国防に理解と協力してきた本市においては、基地関連の交付金を上積みすれば、より事業進捗が図れるのではないか。

答 令和4年度以降も、再編交付金に代わる予算を政府に要望して確保していきたい。また、その他の有利な財源も用いて、防災・減災、市民の要望・ニーズに応えて、必要箇所に対応していきたい。



桑田 勝弘
(公明党議員団)

問 将来的な人口減少や少子高齢化とともに、公共施設の老朽化も進み、全施設の維持が困難となる。施設保有量の最適化やマネジメントが重要になるが、本計画では、各施設の詳細な必要経費が示されていないため判断が難しい。今後の取組を問う。

答 今後、各施設のトータルコストを把握するための将来的なシステムの在り方も含めて、調査研究を行う。



姫野 敦子
(リベラル岩国)

問 技術革新により遠くなく自動運転の時代も来ようとしている。一方で市民生活に重要な市道の整備、特に安全に通行できる停止線、横断歩道、外側線が見えにくく危険ではないか。

答 総延長1580 kmに及ぶ市道を日頃から異常の早期発見や安全上、緊急性の高いところから対応している。6月1日からスマートフォンアプリ「ライン」を使って通報できるので利用してほしい。



長岡 辰久
(日本共産党市議団)

問 3月の航空機騒音は、尾津で沖合移設後最大、由宇でも過去最多で異例な増加だった。この原因はハワイから米空軍F-22ラプター6機が飛来し海兵隊F-35Bと連日のように共同訓練したことが主要因である。基地所属機以外の訓練は中止すべきである。

答 3月31日、市長が基地内で司令官に情報提供の必要性和航空機の運用における騒音軽減を強く要請した。



中村 雅一
(憲政会)

問 錦帯橋世界文化遺産に向けて今後の方針、保存活用、緩衝地帯の整備計画について問う。

答 世界文化遺産専門委員会の開催で、無形の要素を提案書に加え検討することとなる。保存活用は良好な形で未来へ伝える。整備計画により緩衝地帯の区域を文化的景観が保たれるよう誘導。住環境の改善と整備を進めていく。



小川 安士
(日本共産党市議団)

問 ワクチン接種が進んでも、PCR検査は必要で、全国知事会も国に大規模検査を求めている。無症状者に焦点を当てた検査で感染を抑えるよう、PCR検査の体制強化を国に求めるべきではないか。

答 山口県においては積極的な疫学調査に基づき行政検査が確実に行われており、今後この体制を維持したい。



重岡 邦昭
(市民クラブ・草の根)

問 極東最大級の岩国米軍基地に対する、市民の心構えについて。
(ア) 6年以内の台湾有事に対する市民の心構えについて。

答 有事の際、国が対策本部を設置、市も国の指示に従い、警察や消防等と連携し市民の安全を確保する。

問 (イ) 市民の安全は防衛予算でなく基地縮小を検討すべき。
縮小の考えはない。

答 その他の質問項目
・「瀬戸内海環境保全特別措置法」について

6月定例会の議案に対する各議員の賛否を掲載しています

【全会一致で可決された議案】

- ・ 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について
- ・ 岩国市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について
- ・ 岩国市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき、議会の同意を得るについて
- ・ 岩国市公平委員会の委員の選任につき、議会の同意を得るについて
- ・ 岩国市教育委員会の委員の任命につき、議会の同意を得るについて
- ・ 岩国市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市税条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市中山間地域振興施策基本条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岩国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市本郷地域公共施設等整備基金条例を廃止する条例
- ・ 不動産の取得について
- ・ 字の区域の変更について
- ・ 玖西環境衛生組合規約の変更に関する協議について
- ・ 不動産の取得について
- ・ 岩国市個人情報保護条例及び岩国市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 岩国市手数料条例の一部を改正する条例
- ・ 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第3号）
- ・ 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第4号）

【議員提出議案】

- ・ 地方財政の充実・強化に関する意見書

【本会議で賛否が分かれた議案】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会					市政改革クラブ		公明党議員団		共産党		市民		同志会		志誠		リベ		新政		創志		瀨水		行動		二葉	
		片岡勝則	貴船齊	桑原敏幸	武田伊佐雄	田村博美	中村雅一	松川卓司	松本久次	石本崇	植野正則	瀬村尚史	河見正治	桑田勝弘	越澤二代	中村豊	大西明子	小川安士	長岡辰久	重岡邦昭	広中英明	石原真	山本辰哉	丸茂郁生	姫野敦子	藤重建治	藤本泰也	矢野匡亮	広中信夫	片山原司
岩国市教育委員会の教育長の任命につき、議会の同意を得るについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岩国市議会議員定数条例の一部を改正する条例	可決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	議長	×	×	○	

※議長（藤本泰也）は採決に加わりません。

※党派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市民=市民クラブ・草の根、志誠=志誠いわくに、リベ=リベラル岩国、新政=新政和会、創志=創志会、行動=市民目線で考え行動する会、二葉=二葉会

委員会審査報告

教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

教育民生

委員長 越澤 二代
副委員長 広中 英明
委員 石原 真・片岡 勝則
片山 原司・桑原 敏幸
武田伊佐雄・長岡 辰久



建設

委員長 中村 豊
副委員長 姫野 敦子
委員 石本 崇・植野 正則
貴船 齊・中村 雅一
藤本 泰也



議案第78号 不動産の取得について

問 (仮称) 英語交流のまち推進センター整備事業用地及び建物としての当該不動産の取得金額について問う。

答 取得金額1億3,000万円3,000円のうち土地相当分は750万円。建物相当分は1億2,250万3,000円である。
問 次年度以降様々な維持管理費が発生すると思われるが、その費用は本契約の中に含まれているのか。

答 必要とされる維持管理費については、本議案に含まれていない。今後必要に応じて予算計上を行っていきたい。

議案第81号 令和3年度岩国市一般会計補正予算(第3号)

問 物件委託料の内訳について。

答 新型コロナウイルスワクチン接種業務に対して医療機関に追加分約3億2,390万円、

コールセンターに係る追加分約3,400万円、集団接種会場の運営委託料の追加分約1億4,450万円、ワクチン移送業務に係る追加分約653万円となっている。

結果 全会一致で可決すべきものと決定

請願第2号 少人数学級の実現を国に求める意見書を提出することについて

少人数学級の実現を求めるとはとても大切なことであると思われるが、小規模校の複式学級の改善などに対応した教職員の定数確保等、併せて考えていかなければならない課題があり、しっかりと調査研究を重ねた上で判断すべきであるため「継続審査」という意見と「請願の趣旨に賛同し採決」との意見があり継続審査することについて挙手多数により採決した結果、挙手多数で引き続き審査することに決した。

議案第75号 不動産の取得について

問 黒磯地区いこいと学びの交流テラス整備事業の事業用地の取得スケジュール及び、取得価格の算出根拠について問う。

答 取得スケジュールについては、令和3年度から令和5年度の3か年で、岩国市土地開発公社が先行取得している用地を買い戻す予定としている。このたびの不動産の取得は、令和4年度に予定していた約3・1ヘクタールの用地を前倒しして買い戻すものである。用地単価については、当該用地の不動産鑑定評価を踏まえて、岩国市不動産評価委員会が決定している。

結果 全会一致で可決すべきものと決定

建設常任委員会に付託されたその他の議案も、全会一致で可決すべきものと決しました。

経済

委員長 瀬村 尚央
副委員長 小川 安士
委員 河合 伸治
田村 博美
藤重 建治
松本 久次
山本 辰哉

付託された議案はありません。



6月28日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。
 主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

総務

委員長 広中 信夫
 副委員長 丸茂 郁生
 委員 大西 明子・桑田 勝弘
 重岡 邦昭・細見 正行
 松川 卓司・矢野 匡亮



議案第71号 岩国市税条例の一部を改正する条例

問 セルフメディケーション税制の延長に伴い、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例を、令和4年度から令和9年度まで延長することのだが、どのようなメリットがあるのか問う。

答 特定一般用医薬品とは、以前は病院で処方されていた薬が、薬局でも買えるようになったものを指すが、実際には病院で処方された薬の方が安価なため、岩国市においてはセルフメディケーション税制を受ける例はほとんどない。

結果 全会一致で可決すべきものと決定

議案第79号 岩国市個人情報保護条例及び岩国市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供の

関する条例の一部を改正する条例

問 これからデジタル化に向かってマイナンバーカードの普及を迅速に進めていかなければならないが、ここ最近、申請して2か月以上たっても届かないとの声がある。何らかの善後策を考えているか問う。

答 岩国市はマイナンバーカードの発行を地方公共団体情報システム機構に委託しているが、マイナポイントの影響で、全国的に申請件数が増加し、通常よりも発行作業が遅れている状況にある。しかしながら、市としては一日も早く利用者の方にお渡ししたいと考えており、状況が改善されるよう対応してまいりたい。

結果 全会一致で可決すべきものと決定

総務常任委員会に付託されたその他の議案も、全会一致で可決すべきものと決しました。

各特別委員会の活動について

都市活力再生・推進調査特別委員会

本特別委員会は、「本市の中心地域における都市活力の源とも言える岩国錦帯橋空港、JR岩国駅、JR南岩国駅などをそれぞれ軸とした都市拠点における都市活力の再生・推進の実現に向けた総合的な調査・研究を進める必要がある」と考え、設置したものであります。

現在は、新型コロナウイルス感染症への対応が喫緊の課題であるため、本委員会は休止しております。

新型コロナウイルス感染症の収束後は、新しい生活様式を踏まえた都市の活力再生に向けて、協議等を重ねてまいりたいと考えております。



委員長 松川 卓司
 副委員長 丸茂 郁生
 委員 石本 崇 委員 瀬村 尚央
 委員 貴船 齐 委員 田村 博美
 委員 桑原 敏幸 委員 長岡 辰久
 委員 越澤 二代 委員 姫野 敦子

防災・減災対策推進調査特別委員会

本特別委員会は、平成 30 年 7 月の豪雨災害の課題を検証した上で、今後の防災・減災対策について調査・検討を行うことを目的として設置されました。

これまで、市内外の被災現場への委員派遣、各地域の避難所視察及び意見交換会を重ね、「避難所の在り方・運営体制に係る提言」などを取りまとめました。

本年 5 月・7 月には、錦川・島田川・由宇川・多田川・保木川・長野川などのしゅんせつ箇所・ボトルネック地点を視察しました。

今後は、河川の護岸工事やしゅんせつ、岩国市地域防災計画、災害ボランティアの受入体制などに関する調査・検討の取組を進めていきたいと考えております。



委員長	河合 伸治	委員	藤重 建治
副委員長	山本 辰哉	委員	細見 正行
委員	小川 安士	委員	松本 久次
委員	片山 原司	委員	矢野 匡亮
委員	武田伊佐雄		
委員	広中 英明		

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

本特別委員会は、「市民の生命及び健康を守り、市民生活及び経済に及ぼす影響が最小限となるようにすべく、情報の収集及び発信、国・県・市の施策・予算に対する提案・要望を必要に応じて行うこと」を目的に設置したものであります。

これまで、数回にわたり協議を行い、本特別委員会として提言を 2 度とりまとめ、当局へ提出しております。

本特別委員会からの提言や各経済団体からの要望を踏まえ、第 2 弾となる「岩国市プレミアム商品券」の発行が実現しました。

本特別委員会としましては、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願いながら、引き続き、市民の生命及び健康、そして生活を守るため、協議等を重ねてまいります。



委員長	細見 正行	委員	重岡 邦昭
副委員長	姫野 敦子	委員	長岡 辰久
委員	片山 原司	委員	松川 卓司
委員	貴船 齐	委員	丸茂 郁生
委員	桑原 敏幸		
委員	越澤 二代		

令和2年度政務活動費収支報告

政務活動費は、議員が市政に関する調査研究、政策立案活動等を行うために必要な経費の一部として交付されるものです。地方自治法に基づき制定されている「岩国市議会政務活動費の交付に関する条例」のほか「施行規則」「使用に関する留意事項」「政務活動費の手引」により取り扱っています。

(単位 円)

会派名	所属議員数(人)	交付額	会派所属の議員変更後	支出額							残額(返戻額)
				調査旅費	調査研究・研修費	資料作成費	資料購入費	広報広聴費	事務費	合計	
憲政会	12 注1)	4,320,000	3,188,203	0	724,581	0	609,559	0	207,123	1,541,263	1,646,940
市政改革クラブ	5 注2)	1,800,000	1,481,652	0	156,157	5,192	561,400	0	229,031	951,780	529,872
公明党	4	1,440,000		0		0	350,610	0	218,500	569,110	870,890
日本共産党	3	1,080,000		0	180,817	0	440,017	126,646	109,737	857,217	222,783
市民クラブの根	2	720,000		0	7,018	0	224,660	337,461	111,845	680,984	39,016
同志会	2	720,000		0	0	0	231,740	0	52,415	284,155	435,845
いわくに誠心	1	360,000		0	0	0	124,564	0	17,025	141,589	218,411
りべらる国	1	360,000		0	14,000	0	162,250	0	70,424	246,674	113,326
創志会	1 注3)	320,160		0	0	0	110,813	0	18,060	128,873	191,287
新政和会	1 注3)	274,111		0	12,000	0	100,548	0	46,468	159,016	115,095
湧水	1 注3)	284,853		0	12,845	23,072	57,200	128,784	65,817	287,718	0
市民目線で考える行動する会	1 注3)	252,673		0	2,000	0	41,440	0	6,908	50,348	202,325
二葉会	1 注3)	318,348		0		0	69,731	0	19,830	89,561	228,787
合計	30		10,800,000	0	1,109,418	28,264	3,084,532	592,891	1,173,183	5,988,288	4,814,577

※残額が生じた場合は、市に返還

※支出額が、交付額を上回る場合は、会派の負担

注1) 10月29日、2名会派から退会、11月24日2名退会により、所属議員数が12名から8名となった。

注2) 12月24日、1名会派から退会により、所属議員数が5名から4名となった。

注3) 退会した議員による新しい会派

自宅から市議会の状況を確認できます

市議会では、「いわくに市議会だより See議会」のほか、市議会ホームページやケーブルテレビ「アイ・キャン」の放映など、自宅からでも議会の状況を知ることができます。

☆市議会だより

毎年2月、6月、8月、11月に発行し、「広報いわくに」と併せて配布しています。本会議での議案の議決結果、一般質問や、市議会特別委員会の活動報告などを掲載しています。



☆本会議や一般質問のテレビ中継

ケーブルテレビ「アイ・キャン」でのテレビ生中継や当日夜は再放送で市議会を視聴できます。



☆市議会HP

本会議、委員会の日程をはじめ、市議会の様々な情報を検索することができます。



9月定例会のお知らせ(予定)

8月27日(金)	本会議 (開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
9月7日(火)	本会議 (一般質問)
8日(水)	本会議 (一般質問)
9日(木)	本会議 (一般質問)
10日(金)	本会議 (一般質問) ※予備日
13日(月)	本会議 (一般質問) ※予備日
14日(火)	経済常任委員会
15日(水)	教育民生常任委員会
16日(木)	建設常任委員会
17日(金)	総務常任委員会
24日(金)	本会議 (委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※日程については、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

※傍聴については、市議会ホームページでお知らせします。



議場内に、心が和む「いけばな」 ～6月定例会～

6月定例会一般質問の間、池坊岩国支部の方々に、「いけばな」を活かしていただきました。



議会広報特別委員会
委員長 山本 辰哉
副委員長 矢野 匡亮
委員 山本 辰哉
副委員長 矢野 匡亮
委員 山本 辰哉

細見 正行
広中 英明
広中 信夫
中村 豊
中村 雅一
長岡 辰久
田村 博美
植野 正則
矢野 匡亮
山本 辰哉

副委員長 矢野 匡亮

本議会において、議員定数削減が最終日に可決され、次回の選挙から2人減の定数28人になることとなりました。議会広報特別委員会においても、これまで以上に議会活動の内容を市民の皆様にお伝えするよう頑張つてまいります。

本年度においては、本会議場のマイクシステム等の老朽化に伴い機器の更新を行います。併せて市議会の内容をより多くの方に発信できるシステムを検討し、開かれた議会を目指してまいります。

編集後記

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率
70%再生紙を使用

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

いわくに市議会だより 令和3年(2021年)8月1日号 12